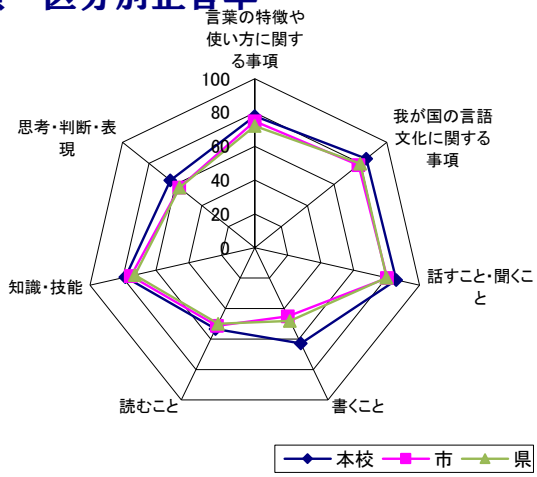
宇都宮市立富士見小学校 第５学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県，市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	77.9	74.8	72.0
	我が国の言語文化に関する事項	84.5	78.6	79.9
	話すこと･聞くこと	85.9	80.4	80.0
	書くこと	62.9	45.1	48.0
	読むこと	53.4	51.3	50.0
観点	知識･技能	78.5	75.2	72.8
	思考･判断･表現	63.9	57.0	57.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○本領域の平均正答率は，77.9%で，県の正答率を5.9ポイント上回った。 ○「漢字を正しく読む」「漢字を正しく書く」の平均正答率は，全ての設問において県の正答率を上回った。 ●「文を読み，様子を表す語として適する語を選ぶ」の平均正答率は，87.4%で，県の正答率を4.9ポイント下回った。	・新出漢字を学習する際に，熟語の構成についても考えさせ，自主学習などで習熟を図る。 ・物語文や説明文の学習において，一つ一つの単語の意味や使い方などを授業で取り上げる。また，意味調べをする際には，調べるだけでなく，その言葉を使った例文を書かせるなど，活用することで，理解につながることを意識付ける。
情報の扱い方に関する事項		
我が国の言語文化に関する事項	○「慣用句の使い方を理解し，「頭をひねる」を正しく使っている人物を選ぶ」の平均正答率は，84.5%で，県の正答率を4.6ポイント上回った。	・「ことわざ」や「慣用句」，「四字熟語」の授業の際には，意味を調べるだけでなく，例文を書いたり，イラストに表したりするなど，興味・関心が高まるようにする。
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は，85.9%で，県の正答率を5.9ポイント上回った。 ○「話し合いの目的を確認し，意見の共通点や相違点に着目しながら，自分の考えを理由を挙げながらまとめる」の平均正答率は，91.3%で，県の正答率を8.3ポイント上回った。	・自分の考えを話したり，書いたりする際には，理由を話したり書いたりすることが身に付いているため，今後も指導を継続して定着させていく。 ・話を聞くときに，要点や意見の共通点・相違点に着目するように指導していく。
書くこと	○本領域の平均正答率は，62.9%で，県の正答率を14.9ポイント上回った。 ○「あいさつについてのアンケート結果を読み，2段落構成で文章を書く」や「あいさつについてのアンケート結果から読み取ったことを，1つ目の段落に書く」など全ての設問において県の正答率を10ポイント以上上回った。	・「指定された長さで書く」「2段落構成で書く」など，条件を示して作文に取り組ませるとともに，定期的に日記や作文の宿題を出すなど，「書く」指導の充実を図る。 ・国語以外の教科でも，自分の考えを書く場面では，自分の意見や理由を書くように指導する。
読むこと	○本領域の平均正答率は，53.4%で，県の正答率を3.4ポイント上回った。 ○「登場人物の気持ちの変化について説明した文の空欄に適する言葉を書く」の平均正答率は，47.6%で，県の正答率を12.8ポイント上回った。 ●「段落の内容ごとのまとまりを分け方として適するものを選ぶ」では，平均正答率は32.0%で，県の正答率を2.1ポイント下回った。	・説明文の学習の際には，段落の分け方を考える時間を設け，段落相互の関係に注意して内容を読み取ることができるようにする。 ・物語文の学習の際には，登場人物の気持ちが分かる文を探すなど，本文を根拠にして考えることができようにする。